

動物看護学科  
動物看護コース

授業科目	生命倫理・動物福祉				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(前期)	必修	講義	2単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	動物園での、分類学に基づく動物の収集・展示。42年従事				
授業目的	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ				
達成目標	生命倫理・動物福祉について理解できる				
授業時間外に必要な学修	動物園や植物園で、展示生物の分類学的な理解をする。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験(80%)、学習態度(20%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	生命倫理の概念・生命誕生				
2回	進化分・類学概論				
3回	動物福祉の考え方・「5つの自由」				
4回	動物愛護運動（日本と世界）				
5回	動物福祉、動物の権利思想や課題、動物福祉の生理学的、行動学的指標				
6回	安楽死				
7回	愛玩動物の福祉、適正飼養と福祉上の問題				
8回	国内外の動物保護活動の現状と課題、災害時の対応				
9回	動物虐待				
10回	産業動物の福祉、産業動物の福祉上の問題				
11回	産業動物の国際的福祉基準、福祉向上に向けて				
12回	実験動物の福祉、実験動物の福祉上の問題				
13回	3R（代替）（削除）（改善）の具体的方法				
14回	展示動物の福祉、展示動物の福祉上の問題、環境エンリッチメント				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物形態機能学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次 (通年)	必修	講義	2
担当教員	山岡 弘二				
実務経験歴	食肉衛生検査所、衛生研究所で試験検査業務に38年間従事				
授業目的	動物の生命体としての細胞、組織、臓器レベルで理解し、病的変化を学ぶ。				
達成目標	動物の体の構造と機能を理解修得する。				
授業時間外に必要な学修	日常、身近な動物に触れて、健康な動物の体型等を理解しておく				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	ノートチェック (10%)、小テスト (10%)、期末試験 (70%) 態度 (10%)				学習
授業内容とスケジュール					
1回 (2コマ)	動物固体の発生等	16回 (2コマ)	動物の特殊感覚		
2回 (2コマ)	動物固体の発生等	17回 (2コマ)	動物の特殊感覚		
3回 (2コマ)	動物細胞の構造等	18回 (2コマ)	動物の内臓感覚		
4回 (2コマ)	動物細胞の構造等	19回 (2コマ)	動物の内臓感覚		
5回 (2コマ)	動物細胞の分裂等	20回 (2コマ)	動物の骨形状。構造等		
6回 (2コマ)	動物細胞の分裂等	21回 (2コマ)	動物の骨形状。構造等		
7回 (2コマ)	遺伝子の仕組み等	22回 (2コマ)	動物の関節と働き等		
8回 (2コマ)	遺伝子の仕組み等	23回 (2コマ)	動物の関節と働き等		
9回 (2コマ)	動物細胞膜の役割等	24回 (2コマ)	動物の筋肉の種類等		
10回 (2コマ)	動物細胞膜の役割等	25回 (2コマ)	動物の筋肉の種類等		
11回 (2コマ)	動物神経細胞・中枢神経	26回 (2コマ)	動物の筋肉の働き等		
12回 (2コマ)	動物神経細胞・中枢神経	27回 (2コマ)	動物の筋肉の働き等		
13回 (2コマ)	動物神経細胞・末梢神経	28回 (2コマ)	動物の主な骨格筋名称		
14回 (2コマ)	動物神経細胞・末梢神経・ミニテスト	29回 (2コマ)	動物の主な骨格筋名称・ミニテスト		
15回 (2コマ)	期末試験・まとめ・振り返り	30回 (2コマ)	期末試験・まとめ・振り返り		
備考	授業中の私語、スマホ使用禁止				

授業科目	動物形態機能学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次 (通年)	必修	講義	2
担当教員	山岡 弘二				
実務経験歴	食肉衛生検査所、衛生研究所で試験検査業務に38年間従事				
授業目的	動物の生命体としての細胞、組織、臓器レベルで理解し、病的変化を学ぶ。				
達成目標	動物の体の構造と機能を理解修得する。				
授業時間外に必要な学修	日常、身近な動物に触れて、健康な動物の体型等を理解しておく				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	ノートチェック(10%)、小テスト(10%)、期末試験(70%) 態度(10%)				学習
授業内容とスケジュール					
1回(2コマ)	動物の呼吸器構造等	16回(2コマ)	動物の血液循環		
2回(2コマ)	動物の呼吸器構造等	17回(2コマ)	動物の血液循環		
3回(2コマ)	動物肺でのガス交換等	18回(2コマ)	動物の腎臓構造		
4回(2コマ)	動物肺でのガス交換等	19回(2コマ)	動物の腎臓構造		
5回(2コマ)	動物の上部消化器	20回(2コマ)	動物の腎臓機能等		
6回(2コマ)	動物の上部消化器	21回(2コマ)	動物の腎臓機能等		
7回(2コマ)	動物の下部消化管	22回(2コマ)	動物の皮膚構造・機能		
8回(2コマ)	動物の下部消化管	23回(2コマ)	動物の皮膚構造・機能		
9回(2コマ)	動物の膵臓構造と機能	24回(2コマ)	生体防御のしくみ		
10回(2コマ)	動物の膵臓構造と機能	25回(2コマ)	生体防御のしくみ		
11回(2コマ)	動物の肝臓構造と機能	26回(2コマ)	ホルモンの種類		
12回(2コマ)	動物の肝臓構造と機能	27回(2コマ)	ホルモンの種類		
13回(2コマ)	動物の心臓構造等	28回(2コマ)	ホルモン調整		
14回(2コマ)	動物の心臓構造等・ミニテスト	29回(2コマ)	ホルモン調整・ミニテスト		
15回(2コマ)	期末試験・まとめ・振り返り	30回(2コマ)	期末試験・まとめ・振り返り		
備考	授業中の私語、スマホ使用禁止				

授業科目	動物繁殖学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(後期)	必修	講義	2単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイほかの希少野生動物の繁殖に取り組む。その内の数種については、国内動物園初の繁殖。42年従事				
授業目的	動物の繁殖生理学、行動学等について学び、飼育下での繁殖について、環境の条件などを考える。				
達成目標	繁殖の生物学を学び、愛玩動物や野生動物を繁殖させる技術を学ぶ。また、遺伝学的に適切な子孫について学ぶ。				
授業時間外に必要な学修	メディアを通じて、希少動物の飼育下繁殖により、どのように種の保存が図られているかを知る。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	哺乳類の進化/遠藤秀紀/東京大学出版会				
成績評価(割合)	期末試験(80%)、学習態度(20%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	無性生殖と有性生殖				
2回	減数分裂				
3回	精子形成・卵子形成				
4回	排卵の生理学的しくみ				
5回	受精				
6回	発生				
7回	出産				
8回	着床遅延をする動物とその意義				
9回	性転換をする動物とその意義				
10回	配偶行動				
11回	子育てのいろいろな方法①				
12回	子育てのいろいろな方法②				
13回	肉食動物の繁殖戦略				
14回	草食動物の繁殖戦略				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物行動学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次後期	必修	座学	1
担当教員	田中 里香 ・ 尾崎 夏美				
実務経験歴	田中：獣医師免許修得、小動物臨床に従事 尾崎：高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を実施。				
授業目的	動物本来あるべき姿について学び、診療補助に活かす				
達成目標	犬と猫の行動について学び、実臨床でそれぞれの診療補助に活かす知識を習得する。また、飼い主への適切なアドバイスができるようになる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験 (7割) ・ 授業態度 ・ レポート (3割)				
授業内容とスケジュール					
1回	授業について				
2回	行動学について				
3回	仔犬について				
4回	仔犬の学習				
5回	子猫について				
6回	子猫の学習				
7回	成犬について				
8回	成猫について				
9回	行動学的に見る動物病院での犬の行動				
10回	行動学的に見る動物病院での猫の行動				
11回	学習について				
12回	しつけと行動学				
13回	問題行動について				
14回	講義まとめ				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物行動学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次前期	必修	座学	1
担当教員	田中 里香 ・ 尾崎 夏美				
実務経験歴	田中：獣医師免許修得、小動物臨床に従事 尾崎：高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を実施。				
授業目的	動物本来あるべき姿について学び、診療補助に活かす				
達成目標	犬と猫の行動について学び、実臨床でそれぞれの診療補助に活かす知識を習得する。また、飼い主への適切なアドバイスができるようになる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験(7割)・授業態度・レポート(3割)				
授業内容とスケジュール					
1回	動物行動学Ⅰ 振り返り				
2回	動物行動学Ⅰ 振り返り				
3回	問題行動				
4回	問題行動				
5回	問題行動の原因				
6回	問題行動の原因と対処				
7回	問題行動の原因と対処				
8回	問題行動の原因と対処				
9回	問題行動の原因と対処				
10回	問題行動の対処と予防法				
11回	問題行動の対処と予防法				
12回	問題行動の対処と予防法				
13回	問題行動の対処と予防法				
14回	講義まとめ				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物栄養学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(前期)	必修	講義	1単位
担当教員	金江 早智				
実務経験歴	動物看護業務に8年間従事				
授業目的	基礎栄養学を学ぶとともに、動物病院で活用・実践できる臨床栄養学を修得する。				
達成目標	対象動物に合うペットフードの提案ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修	市場にあるペットフードを知り、また飼育動物の嗜好性などを観察、把握しておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	動物栄養学/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験(90%)、学習態度(10%)				
授業内容とスケジュール					
1回	オリエンテーション				
2回	六大栄養素①				
3回	六大栄養素②				
4回	犬・猫の必要栄養素の違い				
5回	ライフステージ①				
6回	ライフステージ②				
7回	BCS、カロリー計算				
8回	フードのタイプと適応				
9回	ペットフードの表記を読み取る				
10回	総合栄養食と特別療法食の違い				
11回	特別療法食①(下部尿路疾患、皮膚疾患)				
12回	特別療法食②(肥満、下痢、便秘)				
13回	特別療法食③(心臓病、慢性腎不全、肝臓病、糖尿病、関節疾患)				
14回	前期まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					



授業科目	動物臨床栄養学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（前期）	必修	講義	1単位
担当教員	金江 早智				
実務経験歴	動物看護業務に8年間従事				
授業目的	基礎栄養学を学ぶとともに、動物病院で活用・実践できる臨床栄養学を修得する。				
達成目標	対象動物に合うペットフードの提案ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修	市場にあるペットフードを知り、また飼育動物の嗜好性などを観察、把握しておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	動物栄養学/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	六大栄養素				
2回	犬・猫の必要な栄養素の違い、ライフステージ				
3回	B C S 評価、カロリー計算				
4回	フードのタイプ、ペットフードの表記				
5回	特別療法食①（下部尿路疾患）				
6回	特別療法食②（皮膚疾患）				
7回	特別療法食③（肥満）				
8回	特別療法食④（下痢、便秘）				
9回	特別療法食⑤（心臓病、慢性腎不全）				
10回	特別療法食⑥（肝臓病、糖尿病）				
11回	特別療法食⑦（関節疾患）				
12回	特別療法食の使い分け				
13回	手作りフード				
14回	前期まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	比較動物学（産業動物）				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	産業動物の歴史や品種、主要家畜の飼養管理法、畜産業の実際および家畜の監視伝染病について学修する。				
達成目標	産業動物と人の社会生活との関わりを理解する。				
授業時間外に必要な学修	配布プリントを利用して、單元ごとの内容を予習復習する。				
テキスト	配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	産業動物の種類と特徴				
2回	産業動物の体と特徴				
3回	産業動物の飼養及び管理に関する基準、アニマルウェルフェア				
4回	畜産業界を取り巻く状況				
5回	肉用牛、乳用牛の飼育				
6回	豚、鶏の飼育				
7回	馬、綿羊・山羊の飼育				
8回	牛、豚の病気				
9回	鶏、馬、綿羊・山羊の病気				
10回	家畜伝染病				
11回	家畜の届出伝染病				
12回	家畜に届出伝染病				
13回	家畜のワクチン				
14回	全体のまとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	比較動物学（野生・展示動物学）				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(後期)	必修	講義	2単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	生態系を理解して野生動物の生物学を学ぶ。また、人間と野生動物の関係を考える。				
達成目標	生物の共生関係を理解して、生物多様性の保全の大切さ、人との関係について学ぶ。				
授業時間外に必要な学修	環境破壊など、野生動物と人の関係について、いろいろなメディアを通じて情報を集めて、解決法などを考える。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	生物多様性/本川達雄/中央公論新社				
成績評価(割合)	期末試験(80%)、学習態度(20%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	生態系				
2回	バイオーム				
3回	サンゴ礁① サンゴの分類学				
4回	サンゴ礁② サンゴと褐虫藻の共生				
5回	サンゴ礁③ 生態系				
6回	サンゴ礁④ 白化問題と環境破壊				
7回	日本で絶滅した動物				
8回	コウノトリ① 日本での絶滅とその原因				
9回	コウノトリ② 海外との協力による飼育下繁殖				
10回	コウノトリ③ 野生復帰の過程				
11回	ツシマヤマネコの野生での現状				
12回	ツシマヤマネコの種の保存の取組				
13回	ツシマヤマネコの野生復帰計画				
14回	種の保存法に基づく保全活動				
15回	期末試験・まとめ・総評				
備考					

授業科目	比較動物学 (実験動物学)				
	対象学科	開講時間	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次 (前期)	必修	講義・実習	3
担当教員	矢田範夫 (岡山大学) 後期の実習のうち1回は手技の指導によ定評のある講師を招聘する予定				
実務経験歴	矢田は大学動物実験施設に28年勤務し、施設保全、飼育管理、実技支援、スタッフの管理統括のほか、動物実験計画の倫理審査業務に従事。				
授業目的	生命科学において動物実験は避けて通れない方法論である。だが生命を扱うという自覚を忘れてはならない。本講義・実習を通じて実験動物の科学的かつ倫理的取り扱いの重要性を学び、適正な動物実験の一翼を担う技術者となるための基礎知識を身につける。				
達成目標	実験動物の遺伝的・微生物学的統御、生理・解剖等を理解し、実験動物2級技術者試験に合格できる知識・技術を修得する。				
授業時間外に必要な学修	岡山大学でのインターンシップ研修への参加を推奨する。				
テキスト	「実験動物の技術と応用 入門編」 (日本実験動物協会 編・株式会社アドスリー 刊) 「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説」 環境省動物愛護管理室編・株式会社アドスリー (刊)				
参考書	「アニマルマネジメント」 I～III (笠井一弘 著・株式会社アドスリー 刊)				
成績評価(割合)	出席・受講態度50%、定期試験50% (択一式、小論文形式)				
授業内容とスケジュール					
1回	動物実験と社会(テキストI)	16回	講義・実習①ケージ交換、給水管理		
2回	施設と環境(テキストVII)・飼育と衛生(テキストVI)	17回	講義・実習②雌雄判別、個体識別		
3回	栄養と飼料(テキストV)	18回～19回	講義・実習③保定・投与(腹腔内・経口)		
4回	解剖と生理(テキストII)	20回～23回	講義・実習④解剖		
5回	解剖と生理(テキストII)	24回	講義⑥尾静脈採血		
6回	病気と感染(テキストVIII)	25回～26回	実習⑥尾静脈採血		
7回	遺伝と育種(テキストIII)	27回～29回	講義・実習⑦卵子・精子の採取と観察		
8回	繁殖(テキストIV)	30回～31回	講義・実習⑧性周期の観察		
9回	動物実験の基本(テキストIX)	32回～34回	講義・実習⑨安楽死		
10回	各論・マウス・ラット、その他のげっ歯類(ハムスター・スナネズミ)	34回～35回	講義 実験動物の倫理的取り扱い (実践編)		
11回	各論・マウス・ラット、その他のげっ歯類(ハムスター・スナネズミ)	36回～37回	講義 動物実験計画書と動物実験の機関内管理		
12回	各論・マウス・ラット、その他のげっ歯類(ハムスター・スナネズミ)	38回～40回	講義 麻酔法		
13回	実験動物の福祉(総論)	41回～43回	講義 周術期管理		
14回	実験動物の福祉(各論)	44回	講義 実験動物技術者のキャリアパス		
15回	実験動物の福祉(各論)	45回	定期試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物愛護・適正飼養関連法規				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(前期)	必修	講義	1単位
担当教員	福田 伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	法規について学んで、将来の職業人としてのコンプライアンスの重要性を認識する。また、多発する動物関連事件について、その法的理解をする。				
達成目標	各法律等について学び、法律により動物たちや私たち、また、自然界が保護されていることを学ぶ。				
授業時間外に必要な学修	多発する動物に関連する事件についてメディアから情報を集め、事件の本質について考える。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	期末試験(80%)、学習態度(20%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	動物の愛護及び管理に関する法律				
2回	絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約				
3回	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律				
4回	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の敵視化に関する法律				
5回	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律				
6回	特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約				
7回	生物多様性基本法				
8回	定期試験・まとめ・総評				
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					
備考					

授業科目	動物看護関連法規				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(前期)	必修	講義	1単位
担当教員	福田 伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	法規について学んで、将来の職業人としてのコンプライアンスの重要性を認識する。また、多発する動物関連事件について、その法的理解をする。				
達成目標	各法律等について学び、法律により動物たちや私たち、また、自然界が保護されていることを学ぶ。				
授業時間外に必要な学修	多発する動物に関連する事件についてメディアから情報を集め、事件の本質について考える。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	期末試験(80%)、学習態度(20%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	狂犬病				
2回	民法、刑法、個人情報保護法				
3回	と畜、鳥類、化製				
4回	食品、飼料、ペットフード				
5回	薬機法、薬物劇物、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、手洗い、衛生				
6回	身体障害者補助犬法				
7回	愛玩動物看護師法				
8回	定期試験・まとめ・総評				
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					
備考					

授業科目	動物看護学概論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義	1
担当教員	外山 朋子				
実務経験歴	愛玩動物看護師資格習得し、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	動物看護師の歴史について学ぶ				
達成目標	動物看護師について他人に自信を持って説明できるようになる				
授業時間外に必要な学修	講義中疑問に思ったことについて各自調べ、考察する				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（9割）・授業態度（1割）				
授業内容とスケジュール					
1回	看護とは・動物看護とは				
2回	動物看護と倫理				
3回	動物の健康、福祉、QOL				
4回	インフォームドコンセント				
5回	動物病院について				
6回	動物看護師と獣医師、動物看護の職域				
7回	動物看護技術、動物看護記録、動物看護と社会、動物看護の実際				
8回	獣医療の歴史、動物看護過程				
9回	動物看護師の仕事、動物看護と法律				
10回	動物看護資格、動物看護と国家試験				
11回	欧米の動物看護師				
12回	動物看護師の仕事				
13回	動物看護師の1日				
14回	講義まとめ				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物病理学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（後期）	必修	講義	2
担当教員	山岡 弘二				
実務経験歴	食肉衛生検査所、衛生研究所で試験検査業務に38年間従事				
授業目的	動物疾病の中で、様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化、病態について学ぶ。				
達成目標	動物疾病の成り立ちと回復、促進に関する知識を修得する。				
授業時間外に必要な学修	日頃から、身近にいる動物の健康状態を観察しておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	ノートチェック（10%）、小テスト（10%）、期末試験（70%）学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物病理学とは何か				
2回	疾病による生体反応と成り立ち				
3回	疾病による生体の回復力				
4回	疾病による細胞、組織に生じる変化				
5回	疾病による細胞増殖と修復				
6回	疾病による循環傷害①水腫・充血とうっ血				
7回	疾病による循環障害②出血と止血等・ミニテスト				
8回	疾病による炎症①原因と役割等				
9回	疾病による炎症②急性炎症				
10回	疾病による炎症③慢性炎症				
11回	疾病による免疫反応				
12回	疾病による免疫応答の異常				
13回	腫瘍とは何か				
14回	先天異常・ミニテスト				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考	授業中の私語、スマホ使用禁止				



授業科目	動物薬理学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義	4
担当教員	山岡 弘二				
実務経験歴	食肉衛生検査所、衛生研究所で試験検査業務に38年間従事				
授業目的	動物疾病の診断、治療に用いる薬物の体内動態と作用機序、臨床応用、副作用等を学ぶ。				
達成目標	動物疾病の成り立ちと回復に寄与する薬物の知識を修得する				
授業時間外に必要な学修	日常から薬局等で購入したみじかな薬物について、その薬理作用等を調べておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	ノートチェック(10%)、小テスト(10%)、期末試験(70%) 学習態度(10%)				
授業内容とスケジュール					
1回	薬物治療の概念	16回	神経作用薬①中枢神経薬		
2回	薬物の取り扱い	17回	神経作用薬②末梢神経薬		
3回	薬物治療の目的	18回	呼吸器作用薬		
4回	薬理作用	19回	循環器作用薬①血管拡張薬		
5回	薬物動態	20回	循環器作用薬②強心薬		
6回	薬用量の計算方法	21回	循環器作用薬③抗不整脈薬		
7回	消毒薬・ミニテスト	22回	泌尿器利尿薬・ミニテスト		
8回	殺虫薬	23回	消化器作用薬①制吐薬等		
9回	抗菌薬①βラクタマーゼ系薬等	24回	消化器作用薬②止瀉薬等		
10回	抗菌薬②テトラサイクリン系薬	25回	消化器作用薬③肝疾患薬		
11回	抗真菌薬	26回	内分泌薬①オータコイド等		
12回	駆虫薬	27回	内分泌薬②ステロイドホルモン等		
13回	抗腫瘍薬①種類等	28回	血液作用薬		
14回	抗腫瘍薬②作用等、ミニテスト	29回	免疫系作用薬・ミニテスト		
15回	期末試験・まとめ・振り返り	30回	期末試験・まとめ・振り返り		
備考	授業中の私語、スマホ使用禁止				

授業科目	動物感染症学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	細菌、真菌、ウイルス、プリオンおよび寄生虫・原虫の分類と特徴、人の主な感染症について学修する。				
達成目標	微生物および寄生虫の特徴と人の主な感染症を理解する。				
授業時間外に必要な学修	テキストおよび配布プリントを利用し、単元ごとの内容を予習復習する。				
テキスト	動物看護コアテキスト動物の疾病と予防および回復3/動物看護コアテキスト編集委員会/ファームプレス、配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	微生物とは①				
2回	微生物とは②				
3回	細菌とその特徴①				
4回	細菌とその特徴②				
5回	真菌とその特徴				
6回	ウイルスとは、プリオンとは				
7回	ウイルスの特徴				
8回	寄生虫・原虫とその特徴				
9回	人の主な細菌感染症				
10回	人の主なウイルス感染症				
11回	人の主な真菌感染症				
12回	人の主な寄生虫感染症				
13回	人の主な原虫感染症				
14回	全体のまとめ				
15回	期末試験・総評・振り返り				
備考					

授業科目	動物感染症学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（後期）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	感染症と感染のしくみ、動物の主な細菌感染症、真菌感染症、ウイルス感染症、寄生虫・原虫感染症、免疫とそのしくみ、ワクチン、検査法、感染症法、感染症の予防法などを学修する。				
達成目標	疾病の成り立ちとその予防。治療法を理解する。				
授業時間外に必要な学修	テキストおよび配布プリントを利用し、單元ごとの内容を予習復習する。				
テキスト	動物看護コアテキスト動物の疾病と予防および回復3/動物看護コアテキスト編集委員会/ ファームプレス、配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	感染症とは				
2回	感染のしくみ				
3回	犬猫の主な細菌感染症①				
4回	犬猫の主な細菌感染症②				
5回	犬猫の主な真菌感染症①				
6回	犬猫の主な真菌感染症②				
7回	犬猫の主なウイルス感染症①				
8回	犬猫の主なウイルス感染症②				
9回	犬猫の主な寄生虫感染症①				
10回	犬猫の主な寄生虫感染症②				
11回	産業動物の主な感染症				
12回	実験動物、野生動物の主な感染症				
13回	犬猫の感染症の演習①				
14回	犬猫の感染症の演習②				
15回	犬猫の感染症の演習③				
備考					

授業科目	動物感染症学Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	感染症と感染のしくみ、動物の主な細菌感染症、真菌感染症、ウイルス感染症、寄生虫・原虫感染症、免疫とそのしくみ、ワクチン、検査法、感染症法、感染症の予防法などを学修する。				
達成目標	疾病の成り立ちとその予防。治療法を理解する。				
授業時間外に必要な学修	テキストおよび配布プリントを利用し、單元ごとの内容を予習復習する。				
テキスト	動物看護コアテキスト動物の疾病と予防および回復3/動物看護コアテキスト編集委員会/ ファームプレス、配布プリント				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	感染症法				
2回	その他の感染症に関する法律				
3回	感染症の予防				
4回	院内感染の予防				
5回	免疫のしくみ①				
6回	免疫のしくみ②				
7回	アレルギーとは				
8回	ワクチン①				
9回	ワクチン②				
10回	感染症の診断、バイオセーフティ				
11回	感染症の検査法				
12回	滅菌消毒法				
13回	全体のまとめ①				
14回	全体のまとめ②				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	公衆衛生学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（通年）	必修	講義	2
担当教員	福田伸治				
実務経験歴	と畜検査・食品衛生行政、感染症調査研究業務に34年従事				
授業目的	食品衛生、環境衛生、人獣共通感染症、疫学および滅菌消毒について学修する。				
達成目標	公衆衛生の基本的な内容を理解し、人の健康維持・増進や疾病予防へ応用できる。				
授業時間外に必要な学修	社会生活における健康維持に関する制度や仕組みに日頃から興味を持ち、新聞等を利用して考察をする。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	公衆衛生の考え方と概要	16回	環境衛生と動物①		
2回	獣医公衆衛生学の役割と課題	17回	環境衛生と動物②		
3回	国民衛生の動向と制度①	18回	環境衛生と動物③		
4回	国民衛生の動向と制度②	19回	環境衛生と動物④		
5回	国民衛生の動向と制度③	20回	人獣共通感染症①		
6回	食品衛生①	21回	人獣共通感染症②		
7回	食品衛生②	22回	人獣共通感染症③		
8回	食品衛生③	23回	人獣共通感染症④		
9回	食品衛生④	24回	人獣共通感染症⑤		
10回	食品衛生⑤	25回	薬剤耐性菌		
11回	食品衛生⑥	26回	疫学と疾病予防		
12回	公衆衛生行政①	27回	予防接種		
13回	公衆衛生行政②	28回	滅菌消毒		
14回	全体のまとめ	29回	全体のまとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物内科看護学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年生（後期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	外山 朋子				
実務経験歴	【外山】 認定動物看護師資格習得し、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	動物の臨床看護に必要な知識を修得する				
達成目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸血、輸液などについて理解する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	期末試験100%				
授業内容とスケジュール					
1回	健康の保持・増進①				
2回	健康の保持・増進②				
3回	診療補助に必要な技術①				
4回	診療補助に必要な技術②				
5回	検査・処置に必要な技術①				
6回	検査・処置に必要な技術②				
7回	投薬に関わる技術①				
8回	投薬に関わる技術②				
9回	輸液に関わる技術①				
10回	輸液に関わる技術②				
11回	輸液に関わる技術③				
12回	輸血に関わる技術①				
13回	輸血に関わる技術②				
14回	前期授業内容に基づくまとめ				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物内科看護学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年生（通年）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	宗内 隆義・金江 早智・竹口 真理				
実務経験歴	【宗内】放射線業務（画像診断、放射線治療、核医学検査、放射線管理）に38年間従事 【金江】動物看護業務に8年間従事、愛玩動物看護師 【竹口】動物病院に勤め医療に従事、愛玩動物看護師				
授業目的	動物の臨床看護に必要な知識を修得する				
達成目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸血、輸液などについて理解する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	期末試験100%				
授業内容とスケジュール					
1回	臨床検査における動物看護師の役割	16回	各種検査法の理解、検体の取り扱い		
2回	放射線（X線等）について、X線装置の基本原則①	17回	血液検査①		
3回	放射線（X線等）について、X線装置の基本原則②	18回	血液検査②		
4回	放射線の単位、性質、X線検査に必要な機器・器材①	19回	尿検査		
5回	放射線の単位、性質、X線検査に必要な機器・器材②	20回	糞便検査		
6回	X線撮影法（ポジショニング、用語、撮影の実際、造影検査）①	21回	細胞診		
7回	X線撮影法（ポジショニング、用語、撮影の実際、造影検査）②	22回	病理組織検査		
8回	画像処理（アナログ・デジタル処理）①	23回	遺伝子検査		
9回	画像処理（アナログ・デジタル処理）②	24回	心電図検査		
10回	CT装置、MRI装置の基本原則、検査の実際①	25回	神経学的検査		
11回	CT装置、MRI装置の基本原則、検査の実際②	26回	皮膚検査		
12回	放射線防護の知識（防護の3原則、測定器）①	27回	眼科検査		
13回	放射線防護の知識（防護の3原則、測定器）②	28回	まとめ		
14回	まとめ	29回	総合まとめ		
15回	期末試験・まとめ・振り返り	30回	期末試験・まとめ・振り返り		
備考					

授業科目	動物外科看護学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年生（通年）	必修	講義	2
担当教員	田中 里香・外山 朋子・竹口 真理				
実務経験歴	【田中】 獣医師免許修得、小動物臨床に従事 【外山】 愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務 【竹口】 動物病院に勤め医療に従事、愛玩動物看護師				
授業目的	外科診療の補助、看護について学び、安全な周術期管理を修得する。				
達成目標	基礎的な周術期管理を迅速かつ安全、正確に行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	日常的に動物を観察し、動物の正常な状態を把握しておく。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	asbook周術期の動物看護パーフェクトナビ/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
16回	講義について				
17回	救急救命・エマージェンシーの原因と病態				
18回	救急救命 ショックについて				
19回	救急救命・心肺蘇生				
20回	麻酔前評価				
21回	麻酔前検査				
22回	麻酔薬の種類と主義				
23回	麻酔管理項目				
24回	麻酔投与（前投与、導入、覚醒）1				
25回	麻酔投与（前投与、導入、覚醒）2				
26回	麻酔中管理 各種モニター1				
27回	麻酔中管理 各種モニター2				
28回	麻酔中記録				
29回	講義まとめ				
30回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					



授業科目	動物外科看護学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義・演習	2単位
担当教員	金江 早智				
実務経験歴	動物看護業務に8年従事				
授業目的	外科診療の補助、看護について学び、安全な周術期管理を修得する。				
達成目標	基礎的な周術期管理を迅速かつ安全、正確に行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	日常的に動物を観察し、動物の正常な状態を把握しておく。				
テキスト	動物看護実習テキスト第2版/インターズー				
参考書	asbook周術期の動物看護パーフェクトナビ/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験(90%)、学習態度(10%)で総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	周術期の流れ				
2回	術前管理				
3回	消毒・滅菌法、術衣・術布の準備				
4回	手術器具・機材の準備				
5回	術者に必要な準備				
6回	看護動物に必要な準備				
7回	術野の消毒				
8回	術前管理・準備のまとめ				
9回	術中・術後管理について概要確認				
10回	理学療法の目的と意義、対象疾患				
11回	理学療法の内容				
12回	理学療法を行う際の注意点				
13回	在宅管理の方法				
14回	後期のまとめ				
15回	期末試験・まとめ・振り返り				
備考					

授業科目	動物臨床看護学総論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義	2単位
担当教員	外山 朋子				
実務経験歴	愛玩動物看護師資格習得し、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。				
達成目標	事例に合った動物看護過程の展開、正確な動物看護記録が作成できるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の情報の伝達など、チームを意識した動物飼育管理を行う。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	動物看護過程/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物看護師の業務について知る				
2回	チーム医療				
3回	動物看護過程①				
4回	動物看護過程②（事例に沿って計画作成）				
5回	動物看護記録①				
6回	動物看護記録②（事例に沿って記録作成）				
7回	動物看護におけるリスクマネジメント				
8回	幼齢動物看護①（食事・飼育環境・予防）				
9回	幼齢動物看護②（疾患）				
10回	高齢動物看護①（変化・食事・飼育環境）				
11回	高齢動物看護②（疾患）				
12回	高齢動物看護③（介護・褥瘡）				
13回	ターミナルケア、エンジェルケア				
14回	グリーフケア、まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物臨床看護学各論 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（通年）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	動物の臨床看護に必要な知識を修得する				
達成目標	様々な疾患の病態生理を理解し、引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。それらの動物に対して動物看護師として見るべきポイントを学び、看護の方法を修得する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	ビジュアルで学ぶ動物看護学/緑書房、				
参考書	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
成績評価(割合)	筆記試験 100%				
授業内容とスケジュール					
1回	筋骨格系 犬の骨格	16回	感覚器疾患耳①解剖と生理		
2回	筋骨格系 ウサギ、鳥類の骨格	17回	感覚器疾患耳②主症状と検査		
3回	全身徴候	18回	感覚器疾患耳③各疾患と看護		
4回	循環器疾患①解剖と生理	19回	感覚器疾患眼①解剖と生理		
5回	循環器疾患②解剖と生理	20回	感覚器疾患眼②主症状と検査		
6回	循環器疾患③主症状と検査	21回	感覚器眼疾患③各疾患と看護		
7回	循環器疾患④各疾患と看護 1	22回	呼吸器疾患①解剖と生理		
8回	循環器疾患⑤各疾患と看護 2	23回	呼吸器疾患②主症状と検査および各疾患と看護		
9回	泌尿器疾患①解剖と生理	24回	上部消化器疾患①解剖と生理		
10回	泌尿器疾患②解剖と生理	25回	上部消化器疾患②各症状と検査		
11回	泌尿器疾患③主症状と検査	26回	上部消化器疾患③各疾患と看護		
12回	泌尿器疾患④各疾患と看護 1	27回	下部消化器疾患①解剖と生理		
13回	泌尿器疾患⑤各疾患と看護 2	28回	下部消化器疾患②各症状と検査		
14回	前期授業内容に基づくまとめ	29回	下部消化器疾患③各疾患と看護		
15回	前期筆記試験・振り返り・総評	30回	後期筆記試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物臨床看護学各論Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（通年）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物にたいしてどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。				
達成目標	動物の臨床看護に必要な知識を修得する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	ビジュアユで学ぶ動物看護学/緑書房、動物看護コアテキスト6 動物看護の実践/株式会社ファームプレス				
参考書	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
成績評価(割合)	筆記試験100%				
授業内容とスケジュール					
1回	生殖器疾患①解剖と生理		16回	前期復習	
2回	生殖器疾患②主症状と検査		17回	血液疾患①	
3回	生殖器疾患③各疾患と看護 1		18回	血液疾患②	
4回	生殖器疾患④各疾患と看護 2		19回	運動器系疾患①解剖と生理	
5回	神経系疾患①解剖と生理		20回	運動器系疾患②主症状と検査	
6回	神経系疾患②症状と検査		21回	運動器系疾患③各疾患と看護 1	
7回	神経系疾患③各疾患と看護		22回	運動器系疾患④各疾患と看護 2	
8回	内分泌系疾患①解剖と生理		23回	感染症の基礎と予防	
9回	内分泌系疾患②症状と検査		24回	感染症①ウイルス	
10回	内分泌系疾患③各疾患と看護		25回	感染症②細菌、真菌	
11回	外皮系疾患①解剖と生理		26回	感染症③寄生虫	
12回	外皮系疾患②症状と検査		27回	担がん動物の看護①	
13回	外皮系疾患③各疾患と看護		28回	担がん動物の看護②	
14回	前期授業内容に基づくまとめ		29回	後期授業内容に基づくまとめ	
15回	前期筆記試験・総評・まとめ		30回	後期筆記試験・総評・まとめ	
備考	1年次通年、2年次通年 科目合計2単位				

授業科目	動物臨床検査学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（通年）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	外山 朋子				
実務経験歴	【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する				
達成目標	動物病院業務に必要な各種検査の知識を修得する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	筆記試験100%				
授業内容とスケジュール					
1回	臨床検査における動物看護師の役割	16回	各種検査法の理論		
2回	臨床検査における動物看護師の役割	17回	血液検査①		
3回	各種検査法の理論	18回	血液検査②		
4回	各種検査法の理論	19回	尿検査		
5回	各種検査法の理論・実際	20回	糞便検査		
6回	各種検査法の理論・実際	21回	細胞診		
7回	各種検査法の理論・実際	22回	病理組織検査		
8回	各種検査法の動物看護師の関わり方	23回	遺伝子検査		
9回	各種検査法の動物看護師の関わり方	24回	心電図検査		
10回	各種検査法・検査機器の動物看護師の関わり方	25回	神経学的検査		
11回	各種検査法・検査機器の動物看護師の関わり方	26回	皮膚検査		
12回	放射線防護の知識（防護の3原則、測定器）①	27回	眼科検査		
13回	放射線防護の知識（防護の3原則、測定器）②	28回	まとめ		
14回	まとめ	29回	総合まとめ		
15回	期末試験・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物医療コミュニケーション				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	竹口 真理				
実務経験歴	竹口】愛玩動物看護師、動物病院に勤め医療に従事				
授業目的	日常健康管理に関わる飼い主教育、院内におけるほかのスタッフとのコミュニケーションの基礎を身につける。				
達成目標	動物の予防・管理について適切に指導でき、院内（チーム内）でのマナー、コミュニケーションが円滑に行える。				
授業時間外に必要な学修	自己のコミュニケーションやマナー、言葉づかい等を検討、評価してみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	動物病院スタッフのための院内コミュニケーション基礎知識編・実践編/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	クライアントエデュケーションの目的と概要				
2回	犬・猫の予防①（狂犬病、混合ワクチン）				
3回	犬・猫の予防②（フィラリア、ノミ・マダニ、不妊去勢）				
4回	クライアントエデュケーション演習				
5回	院内コミュニケーション①（コミュニケーションとは、身だしなみ、言葉づかい）				
6回	院内コミュニケーション②（受付でのコミュニケーション）				
7回	院内コミュニケーション③（電話応対）				
8回	院内コミュニケーション④（診察室でのコミュニケーション）				
9回	院内コミュニケーション⑤（スタッフコミュニケーション①）				
10回	院内コミュニケーション⑥（スタッフコミュニケーション②）				
11回	院内マネジメント①（目的と役割）				
12回	院内マネジメント②（院内スタッフのメンタルヘルスとセルフケア）				
13回	グリーンケア				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	愛玩動物学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（通年）	必修	講義	2
担当教員	築田 美由紀				
実務経験歴	ペットシッター業務に5年従事				
授業目的	一般に飼養できる愛玩動物（ペット）の生態、知識の習得と、動物関連の法律について学ぶ。				
達成目標	愛玩動物飼養管理士2級の取得を目指す。				
授業時間外に必要な学修	動物園やペットショップ等、実際に動物をよく観察することで授業の内容の理解がより深まる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第一巻 第二巻／公益社団法人 日本愛玩動物協会				
成績評価(割合)	定期試験（80％）、授業態度（20％）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要	16回	犬の適正な飼養管理方法		
2回	犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	17回	犬の適正な飼養管理方法		
3回	犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	18回	猫の適正な飼養管理方法		
4回	犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	19回	猫の適正な飼養管理方法		
5回	猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	20回	愛玩鳥・エキゾチック動物の適切な飼養管理		
6回	猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	21回	愛玩鳥・エキゾチック動物の適切な飼養管理		
7回	猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ	22回	動物の基本的な取り扱い		
8回	代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について	23回	動物の基本的な取り扱い		
9回	代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について	24回	動物の基本的な取り扱い		
10回	代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について	25回	動物の基本的な取り扱い		
11回	血統と血統書について	26回	動物の基本的な取り扱い		
12回	使役動物の歴史と福祉	27回	動物の基本的な取り扱い		
13回	使役動物の歴史と福祉	28回	動物の基本的な取り扱い		
14回	補助犬の歴史と福祉	29回	後期まとめ、定期試験対策		
15回	前期定期試験・振り返り	30回	後期定期試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	人と動物の関係学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	築田 美由紀				
実務経験歴	ペットシッター業務に5年従事				
授業目的	動物が人間社会で果たしている役割や背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会的側面から実態、課題を含め理解する				
達成目標	人と動物の関係性について諸側面より理解できる				
授業時間外に必要な学修	動物園やペットショップ等、実際に動物をよく観察することで授業の内容の理解がより深まる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第一巻 第二巻／公益社団法人 日本愛玩動物協会				
成績評価(割合)	定期試験（80％）、授業態度（20％）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要				
2回	動物飼養・利用の歴史				
3回	日本における動物観、動物との関りと現状				
4回	欧米等諸外国における動物観、動物との関りと現状				
5回	日本と諸外国における動物観、動物との関り方の相違				
6回	人間の福祉と愛玩動物の関わり				
7回	動物虐待、多頭飼育崩壊等動物福祉について				
8回	愛玩動物が高齢者、児童に与える恩恵及び人間の加齢に伴う飼養困難等の実情				
9回	動物介在活動の目的・内容・効果・影響と実際				
10回	動物介在療法の目的・内容・効果・影響と実際				
11回	動物介在教育の目的・内容・効果・影響と実際				
12回	動物介在活動、療法、教育に使用される公衆衛生学的適正、行動学的適正				
13回	学校飼育動物の目的や実態				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					



授業科目	適正飼養指導論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（通年）	必修	講義	2
担当教員	築田 美由紀				
実務経験歴	ペットシッター業務に5年従事				
授業目的	1年次で学習した愛玩動物（ペット）や法律等の知識を、さらに専門的に学習していく。				
達成目標	愛玩動物の飼養・適正飼養の推進・災害危機管理と支援について理解する				
授業時間外に必要な学修	遺伝、病気、感染症の知識を深めるために、獣医、動物看護師から話を聞く機会を設けたり、新聞等で普段から感染症の流行に注目するなど、自ら情報を収集したりすることが重要である。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	定期試験（80%）、授業態度（20%）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要	16回	適正飼養に関する支援の目的と活動		
2回	愛玩動物の適正飼養のニーズ・目的・概念についての理解	17回	適正飼養に関する支援の目的と活動		
3回	愛玩動物の適正飼養のニーズ・目的・概念についての理解	18回	適正飼養に関する支援の目的と活動		
4回	愛玩動物飼養の現状	19回	適正飼養に関する支援の目的と活動		
5回	愛玩動物飼養の現状	20回	動物取扱業者における適正飼養		
6回	愛玩動物飼養の現状	21回	動物取扱業者における適正飼養		
7回	愛玩動物飼養による人間が受ける影響と問題点	22回	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策		
8回	愛玩動物飼養による人間が受ける影響と問題点	23回	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策		
9回	愛玩動物飼養による人間が受ける影響と問題点	24回	問題行動予防のための適切な使用方法としつけ、飼い主への指導		
10回	グリーフケア・ペットロスの概要、飼い主の心情理解と必要な支援	25回	問題行動予防のための適切な使用方法としつけ、飼い主への指導		
11回	グリーフケア・ペットロスの概要、飼い主の心情理解と必要な支援	26回	問題行動予防のための適切な使用方法としつけ、飼い主への指導		
12回	グリーフケア・ペットロスの概要、飼い主の心情理解と必要な支援	27回	災害時の同行避難の重要性の理解と説明		
13回	グリーフケア・ペットロスの概要、飼い主の心情理解と必要な支援	28回	災害時の同行避難の重要性の理解と説明		
14回	前期まとめ、定期試験対策	29回	後期まとめ、定期試験対策		
15回	前期定期試験・振り返り	30回	後期定期試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物生活環境学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	築田 美由紀				
実務経験歴	ペットシッター業務に5年従事				
授業目的	動物の行動様式を理解し、家庭等における飼養環境の整備、ドッグラン、動物介在教育施設の整備・管理、保護収容施設、訓練施設等の理解。ペットの事故や怪我等のリスク除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、共生のための生活環境のあり方の理解				
達成目標	他施設の理解を含め、共生社会に必要な環境等について理解できる				
授業時間外に必要な学修	動物園やペットショップ等、実際に動物をよく観察することで授業の内容の理解がより深まる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第一巻 第二巻／公益社団法人 日本愛玩動物協会				
成績評価(割合)	定期試験（80％）、授業態度（20％）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要				
2回	飼養環境整備				
3回	ペット共生住宅の現状、環境整備・管理の方法				
4回	ペットツーリズムの現状と実施方法				
5回	ドッグランの環境整備・管理の方法、ペット関連イベント活動の企画運営や地域振興				
6回	動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備・管理、シェルターメディンスについて				
7回	動物愛護管理センターの役割、施設の概要、普及啓発活動				
8回	動物の社会化トレーニングの意義、必要性、方法、施設等の理解				
9回	学校飼育動物等の環境整備・管理の方法				
10回	飼育マナーの必要性や目的				
11回	飼育マナーの歴史、地域別飼育マナーの違い				
12回	地方自治体において定められている飼育マナーや条例				
13回	愛玩動物種別別飼育マナー、ペット保険の仕組みと実態				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	ペット関連産業概論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	築田 美由紀				
実務経験歴	ペットシッター業務に5年従事				
授業目的	ペット関連産業従事者としての職業倫理、行動倫理の理解。ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識、手法の習得				
達成目標	ペット関連産業従事者の職業・行動倫理の理解。動物取扱責任者の実践的知識、技術が習得できる				
授業時間外に必要な学修	動物園やペットショップ等、実際に動物をよく観察することで授業の内容の理解がより深まる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	愛玩動物飼養管理士2級教本 第一巻 第二巻／公益社団法人 日本愛玩動物協会				
成績評価(割合)	定期試験（80％）、授業態度（20％）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要				
2回	ペット関連産業における職業倫理				
3回	責任と社会的役割				
4回	商取引における関連法規の概要理解				
5回	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法				
6回	ペット飼養実態と市場規模				
7回	ペット飼養実態及びペット関連産業の概要・市場規模				
8回	ペットフード、ペット用品、ペット関連サービスの現状と課題				
9回	ペットフード、ペット用品、ペット関連サービスの現状と課題				
10回	ペットフード、ペット用品、ペット関連サービスの現状と課題				
11回	動物取扱業制度の概要				
12回	動物取扱責任者として必要な実践的知識				
13回	動物取扱責任者としての動物取り扱い方法や衛生管理に係る手法				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物形態機能学実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次通年	必修	座学・演習	1
担当教員	外山 朋子				
実務経験歴	愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	動物の体の作りを実際の標本を元に学ぶ				
達成目標	動物を構成しているものの種類や数、形状を説明できる。顕微鏡を取り扱えるようになる				
授業時間外に必要な学修	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)	期末試験 (8割) ・ 授業態度 (2割)				
授業内容とスケジュール					
1回	実習についての説明				
2回	骨格標本を用いた実習・筋肉について				
3回	内部臓器について				
4回	顕微鏡の使い方				
5回	血液塗抹標本				
6回	組織標本 (総論)				
7回	組織標本 (消化器) (循環器)				
8回	組織標本 (神経系) (感覚器)				
9回	顕微鏡標本まとめ				
10回	骨学の復習・筋学の復習				
11回	内部臓器の復習				
12回	顕微鏡実習 1				
13回	顕微鏡実習 2				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り				
備考					

授業科目	動物内科看護学実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	金江 早智 外山 朋子				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師、動物看護業務に8年間従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	犬猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	動物のバイタルチェックや保定、輸液の設置を一人で行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物の基本的取り扱い（飼育環境、飼育管理、安全なハンドリング）	16回	動物に応じた安全なハンドリング		
2回	動物の基本的取り扱い（安全な運動・散歩）	17回	基本的なグルーミング、飼育環境の整備		
3回	動物の基本的取り扱い（グルーミング）	18回	全身状態・バイタルサインの評価（内容確認）		
4回	身体検査（全身状態）	19回	全身状態・バイタルサインの評価（演習）		
5回	身体検査（バイタルサイン）	20回	診察室の管理		
6回	診療補助（診察室の衛生管理）	21回	基本保定（演習）		
7回	診療補助（保定）	22回	薬剤の取り扱い		
8回	診療補助（保定）	23回	薬剤の投与方法		
9回	診療補助（診療機器の取り扱い）	24回	注射法、注射器の扱い		
10回	診療補助（採血・採尿）	25回	留置針、輸液の準備		
11回	輸液・輸血に関わる技術	26回	留置針、輸液の設置方法		
12回	輸液・輸血に関わる技術	27回	輸液ポンプ・シリンジポンプの設置（演習）		
13回	輸液・輸血に関わる技術	28回	輸液中の動物の看護		
14回	講義まとめ	29回	後期まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物内科看護学実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（後期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	金江 早智・竹口 真理				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師、動物看護業務に8年間従事 【竹口】愛玩動物看護師、動物病院に勤め医療に従事				
授業目的	犬猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	動物のバイタルチェックや保定、輸液の設置を一人で行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	授業について				
2回	全身状態の評価				
3回	バイタルサインの評価				
4回	POMRについて				
5回	POMRに基づくSOAP				
6回	POMRとSOAP作成実習				
7回	採血・採尿実習				
8回	輸液・輸血について				
9回	輸液・輸血実習				
10回	ロールプレイング実習1				
11回	ロールプレイング実習2				
12回	ロールプレイング実習3				
13回	ロールプレイング実習4				
14回	講義まとめ				
15回	期末試験・まとめ				
備考					

授業科目	動物内科看護学実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	竹口 真理・外山 朋子				
実務経験歴	【竹口】愛玩動物看護師、動物病院に勤め医療に従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	犬猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	動物のバイタルチェックや保定、輸液の設置を一人で行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物に応じた安全なハンドリング				
2回	基本的なグルーミング、飼育環境の整備				
3回	全身状態・バイタルサインの評価（内容確認）				
4回	全身状態・バイタルサインの評価（演習）				
5回	診察室の管理				
6回	基本保定（演習）				
7回	薬剤の取り扱い				
8回	薬剤の投与方法				
9回	注射法、注射器の扱い				
10回	留置針、輸液の準備				
11回	留置針、輸液の設置方法				
12回	輸液ポンプ・シリンジポンプの設置（演習）				
13回	輸液中の動物の看護				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物臨床検査学実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(通年)	必修	講義・演習	2単位
担当教員	金江 早智・外山 朋子				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師、動物看護業務に8年間従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方、動物看護師の役割など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	検査に必要な検体の採取や検査の補助が、的確・迅速に行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動、正確を観察し、個体に合った検体の採取法や検査の進め方を考察してみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	犬と猫の血液学/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験(90%)、学習態度(10%)				
授業内容とスケジュール					
1回	動物病院で行う検査と動物看護師の役割	16回	細胞診・病理学的検査の検体処理法と標本作成		
2回	検体の取り扱い	17回	細胞診・病理学的検査の検体処理法と標本作成		
3回	検体の採取法	18回	細胞診・病理学的検査の検体処理法と標本作成		
4回	検体検査演習①	19回	生体検査の種類と方法(基礎)		
5回	検体検査演習②	20回	生体検査の種類と方法(応用)		
6回	検体検査演習③	21回	各生体検査のポジショニングと保定①		
7回	検体検査演習④	22回	各生体検査のポジショニングと保定②		
8回	フィラリア症の検査	23回	各生体検査のポジショニングと保定③		
9回	簡易検査キットで検出できる感染症	24回	各生体検査のポジショニングと保定④		
10回	簡易検査キットで検出できる感染症	25回	振り返り演習		
11回	内分泌検査	26回	振り返り演習		
12回	内分泌検査	27回	振り返り演習		
13回	免疫学的検査	28回	振り返り演習		
14回	まとめ	29回	まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					



授業科目	動物外科看護学実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（通年）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	津村 大修・田中 里香				
実務経験歴	【津村】 獣医師免許修得、津村動物病院院長 【田中】 獣医師免許修得後、小動物臨床に従事				
授業目的	修得した知識の実践力を身に付ける				
達成目標	手術準備や術中、術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践力を修得する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	動物看護実習テキスト／インターズー 愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	筆記試験80%、実習態度20%				
授業内容とスケジュール					
1回	救命救急 エマージェンシーとは	16回	術中モニタリング①		
2回	救急救命 心停止の評価	17回	麻酔管理①		
3回	救急救命 心肺蘇生と気道確保のBLS	18回	麻酔管理②		
4回	救急救命 薬剤選択や除細動を含めたALS	19回	術中モニタリング①		
5回	実際のケースを想定した実習	20回	術中モニタリング②		
6回	術前検査①	21回	術後管理①		
7回	術前検査②	22回	術後管理②		
8回	術前検査③	23回	外科実習①		
9回	術前検査④	24回	外科実習①		
10回	一般的な手術器具①	25回	外科実習①		
11回	一般的な手術器具②	26回	外科実習②		
12回	歯科器具、歯科処置①	27回	外科実習②		
13回	歯科器具、歯科処置②	28回	外科実習②		
14回	器具の消毒、滅菌	29回	外科実習③		
15回	手術補助	30回	外科実習③		
備考					

授業科目	動物外科看護学実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	金江 早智・外山 朋子				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師、動物看護業務に8年間従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	修得した知識の実践力を身に付ける				
達成目標	手術準備や術中、術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践力を修得する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	動物看護実習テキスト／インターズー 愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	配布資料				
成績評価(割合)	筆記試験80%、実習態度20%				
授業内容とスケジュール					
1回	動物外科看護学実習Ⅰ 振り返り①				
2回	動物外科看護学実習Ⅰ 振り返り②				
3回	外科実習①				
4回	外科実習②				
5回	外科実習③				
6回	外科実習④				
7回	外科実習⑤				
8回	外科実習⑥				
9回	外科実習⑦				
10回	外科実習⑧				
11回	外科実習⑨				
12回	外科実習⑩				
13回	外科実習⑪				
14回	期末試験・まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物臨床看護学実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（通年）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	【田中】 獣医師免許修得後、小動物臨床に従事				
授業目的	動物看護過程や疾病別の看護等、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。				
達成目標	動物看護過程や疾病別の看護等、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得できる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物看護過程の実践（事例演習）	16回	入院動物の管理・アセスメント		
2回	事例を通して動物看護アプローチの個別性の理解	17回	入院動物の管理・アセスメント		
3回	看護動物の生活環境が健康に及ぼす影響の理解	18回	ケージの清掃・管理		
4回	症状や入院・治療が看護動物と家族に及ぼす影響の理解	19回	ペインスケールを用いて痛みの程度評価		
5回	看護動物の看護上の問題を理解、優先順位の選定	20回	ペインスケールを用いて痛みの程度評価		
6回	看護動物の看護上の問題を理解、優先順位の選定	21回	ペインスケールを用いて痛みの程度評価		
7回	看護動物の援助内容・方法の立案	22回	栄養チューブ設置の準備や流動食の調整		
8回	看護動物の援助内容・方法の立案	23回	栄養チューブ設置の準備や流動食の調整		
9回	動物看護計画の作成	24回	栄養チューブ設置の準備や流動食の調整		
10回	動物看護計画の作成	25回	褥瘡を持つ動物の看護		
11回	動物看護計画の作成	26回	褥瘡を持つ動物の看護		
12回	動物看護記録の作成	27回	動物の体位変換		
13回	動物看護記録の作成	28回	動物の体位変換		
14回	まとめ	29回	まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物臨床検査学実習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次(通年)	必修	講義・演習	2単位
担当教員	金江 早智・外山 朋子				
実務経験歴	【金江】愛玩動物看護師、動物看護業務に8年間従事 【外山】愛玩動物看護師資格習得、動物病院にて5年間勤務				
授業目的	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方、動物看護師の役割など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。				
達成目標	検査に必要な検体の採取や検査の補助が、的確・迅速に行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動、正確を観察し、個体に合った検体の採取法や検査の進め方を考察してみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	犬と猫の血液学/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験(90%)、学習態度(10%)				
授業内容とスケジュール					
1回	動物病院で行う検査と動物看護師の役割	16回	細胞診・病理学的検査の検体処理法と標本作成		
2回	検体の取り扱い	17回	細胞診・病理学的検査の検体処理法と標本作成		
3回	検体の採取法	18回	細胞診・病理学的検査の検体処理法と標本作成		
4回	検体検査演習①	19回	生体検査の種類と方法(基礎)		
5回	検体検査演習②	20回	生体検査の種類と方法(応用)		
6回	検体検査演習③	21回	各生体検査のポジショニングと保定①		
7回	検体検査演習④	22回	各生体検査のポジショニングと保定②		
8回	フィラリア症の検査	23回	各生体検査のポジショニングと保定③		
9回	簡易検査キットで検出できる感染症	24回	各生体検査のポジショニングと保定④		
10回	簡易検査キットで検出できる感染症	25回	振り返り演習		
11回	内分泌検査	26回	振り返り演習		
12回	内分泌検査	27回	振り返り演習		
13回	免疫学的検査	28回	振り返り演習		
14回	まとめ	29回	まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	動物愛護・適正飼育実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する				
達成目標	動物の基本的な飼養管理ができる				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	飼育施設 脱出等の事故防止や安全な設備				
2回	飼育施設 衛生的な管理				
3回	飼育施設 動物が本来の行動を表現する設備				
4回	飼育施設 動物の治療などの手当てを容易にする構造				
5回	動物種毎の適切な飼育方法				
6回	動物種毎の適切な飼育方法				
7回	動物種毎の適切な飼育方法				
8回	動物種毎の適切な飼育方法				
9回	動物種毎の適切な飼育方法				
10回	動物種毎の適切な飼育方法				
11回	動物種毎の適切な飼育方法				
12回	動物種毎の適切な飼育方法				
13回	動物種毎の適切な飼育方法				
14回	講義まとめ				
15回	期末試験・まとめ・総評				
備考					

授業科目	動物愛護・適正飼育実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する				
達成目標	動物の基本的な飼養管理ができ、飼い主への適切な指導ができる。				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物愛護・適正飼育実習Ⅰの振り返り				
2回	動物種毎の適切な飼育方法 振り返り				
3回	動物種毎の適切な飼育方法 振り返り				
4回	適正飼育に際し適切な道具の選択				
5回	適正飼育に際し適切な道具の選択				
6回	基本的なグルーミング				
7回	基本的なグルーミング				
8回	飼い主とのコミュニケーション、品種に応じた特徴の説明				
9回	品種に応じた適切な使用方法の指導				
10回	品種に応じた適切な使用方法の指導				
11回	品種に応じた適切な使用方法の指導				
12回	品種に応じた適切な使用方法の指導				
13回	飼い主が法令に基づき遵守すべき対応について				
14回	飼い主が法令に基づき遵守すべき対応について				
15回	期末試験・まとめ・総評				
備考					

授業科目	動物愛護・適正飼育実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する				
達成目標	動物の基本的な飼養管理ができ、飼い主への適切な指導ができると共に、動物取扱業における実践的対応を身に着ける				
授業時間外に必要な学修	動物の行動や筋骨格をよく観察し、個体に合った保定を考察する。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書	チームで取り組む獣医師動物看護師のための輸液超入門/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物愛護・適正飼育実習Ⅱ 振り返り				
2回	動物愛護・適正飼育実習Ⅱ 振り返り				
3回	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援について				
4回	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援について				
5回	災害時等避難に対し、避難所等支援について				
6回	災害時等避難に対し、避難所等支援について				
7回	動物愛護管理行政の理解				
8回	動物愛護管理センターの役割・業務内容				
9回	動物愛護管理センターの実際				
10回	動物取扱業者の現状と課題				
11回	動物取扱業者への指導内容				
12回	動物取扱業における顧客等への対応について				
13回	動物取扱業における顧客等への対応について（演習）				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	動物看護総合実習 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	1年次（後期）	必修	演習	1単位
担当教員	<p>実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得</p>				
実務経験歴					
授業目的					
達成目標					
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
2回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
3回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
4回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
5回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
6回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
7回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
8回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
9回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
10回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
11回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
12回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
13回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
14回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
15回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
備考					



授業科目	動物看護総合実習Ⅱ									
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数					
	動物看護学科	2年次（前期）	必修	演習	2単位					
担当教員	<p>実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得</p>									
実務経験歴										
授業目的										
達成目標										
授業時間外に必要な学修										
テキスト										
参考書										
成績評価(割合)										
授業内容とスケジュール										
1回						動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	16回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
2回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	17回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
3回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	18回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
4回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	19回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
5回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	20回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
6回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	21回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
7回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	22回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
8回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	23回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
9回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	24回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
10回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	25回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
11回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	26回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
12回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	27回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
13回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	28回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
14回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	29回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
15回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	30回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践							
備考										

授業科目	動物看護総合実習Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（前期）	必修	演習	2単位
担当教員	<p>実務経験歴</p> <p>授業目的 実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>達成目標 愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得</p> <p>授業時間外に必要な学修</p> <p>テキスト</p> <p>参考書</p> <p>成績評価(割合)</p>				
実務経験歴					
授業目的					
達成目標					
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
31回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
32回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
33回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
34回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
35回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
36回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
37回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
38回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
備考					

授業科目	動物看護総合実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	演習	2単位
担当教員	<p>実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得</p>				
実務経験歴					
授業目的					
達成目標					
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	16回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
2回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	17回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
3回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	18回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
4回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	19回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
5回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	20回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
6回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	21回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
7回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	22回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
8回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	23回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
9回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	24回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
10回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	25回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
11回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	26回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
12回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	27回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
13回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	28回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
14回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	29回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
15回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践	30回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践		
備考					

授業科目	動物看護総合実習Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	演習	2単位
担当教員	<p>実務経験歴</p> <p>授業目的 実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。</p> <p>達成目標 愛玩動物看護師業務現場における実践力、即戦力の修得</p> <p>授業時間外に必要な学修</p> <p>テキスト</p> <p>参考書</p> <p>成績評価(割合)</p>				
実務経験歴					
授業目的					
達成目標					
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
31回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
32回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
33回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
34回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
35回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
36回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
37回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
38回	動物診療施設において、施設・動物看護業務の理解と実践				
備考					

授業科目	動物飼養管理学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次（通年）	必修	講義	2
担当教員	築田 美由紀				
実務経験歴	ペットシッター業務に5年従事				
授業目的	1年次で学習した愛玩動物（ペット）や法律等の知識を、さらに専門的に学習していく。				
達成目標	愛玩動物飼養管理士1級の取得を目指す。				
授業時間外に必要な学修	遺伝、病気、感染症の知識を深めるために、獣医、動物看護師から話を聞く機会を設けたり、新聞等で普段から感染症の流行に注目するなど、自ら情報を収集したりすることが重要である。				
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)	定期試験（80%）、授業態度（20%）				
授業内容とスケジュール					
1回	年間授業スケジュールの概要	16回	犬の疾病とその予防		
2回	動物愛護論Ⅱ①	17回	猫の疾病とその予防		
3回	動物愛護論Ⅱ②	18回	小動物の疾病とその予防		
4回	動物関係法令①	19回	鳥類の疾病とその予防		
5回	動物関係法令②	20回	爬虫類の疾病とその予防		
6回	動物関係法令③	21回	公衆衛生		
7回	動物の行動と社会	22回	人と動物の共通感染①		
8回	犬猫の行動と社会	23回	人と動物の共通感染②		
9回	犬と猫の栄養学①	24回	動物愛護行政と地域活動		
10回	犬と猫の栄養学②	25回	自然環境と人間		
11回	動物の遺伝	26回	絶滅危惧種について		
12回	動物の繁殖生理①	27回	生物多様性について		
13回	動物の繁殖生理②	28回	創物を取り巻く社会情勢		
14回	前期まとめ、定期試験対策	29回	後期まとめ、定期試験対策		
15回	前期定期試験・振り返り	30回	後期定期試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	就職試験対策				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義	1単位
担当教員	東田 大樹				
実務経験歴	各種学校における就職支援に10年従事 年間約300コマ以上講義				
授業目的	社会人として社会で活躍するために一般的な常識や必要な知識について、就職筆記試験を通して学ぶ。				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な就職筆記試験の問題を知る。</li> <li>・就職筆記試験対策として、どんな準備をすればよいか理解し、行動できる。</li> </ul>				
授業時間外に必要な学修	日頃から社会で起こる出来事に興味関心を持ち、幅広い知識を探求する。				
テキスト	ファーストボイスオリジナルテキスト				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	筆記試験概要説明、模擬試験		16回	非言語（推論）	
2回	模擬試験解説		17回	C A B	
3回	言語（二語の関係）		18回	G A B	
4回	非言語（計算基礎：四則）		19回	公務員 一般知能分野（判断推理）	
5回	言語（熟語）		20回	公務員 一般知能分野（判断推理）	
6回	非言語（計算基礎：少数・分数）		21回	公務員 一般知能分野（数的推理）	
7回	言語（読解力）		22回	公務員 一般知能分野（数的推理）	
8回	非言語（計算基礎：1次関数）		23回	公務員 一般知識分野（社会分野）	
9回	非言語 （計算基礎：文字を使った計算）		24回	公務員 一般知識分野（社会分野）	
10回	非言語（速さ）		25回	公務員 一般知識分野（理科分野）	
11回	非言語（濃度）		26回	公務員 一般知識分野（理科分野）	
12回	非言語（割合・比）		27回	一般常識	
13回	英語（単語・熟語）		28回	一般常識	
14回	非言語（推論）		29回	試験対策	
15回	英語（文章読解）		30回	期末試験・振り返り・総評	
備考					

授業科目	人と動物のコミュニケーション学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	人と動物（家畜、伴侶動物、野生動物、飼育動物、動物園動物などを含む）の関係とコミュニケーションのあり方の基本について、様々な具体的事例を通して学ぶ。				
達成目標	人と動物の関係の基礎について理解する。				
授業時間外に必要な学修	自分の身近な動物の行動を観察して、人との関係性について考えてみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	授業主旨説明	16回	前期振り返り・まとめ		
2回	人と動物の関係の歴史	17回	家畜と人との関係		
3回	人と動物の関係の歴史	18回	家畜と人との関係		
4回	人から見た動物(動物観)	19回	野生動物と人との関係		
5回	人から見た動物(動物観)	20回	野生動物と人との関係		
6回	動物から見た人	21回	伴侶動物と人との関係		
7回	動物から見た人	22回	伴侶動物と人との関係		
8回	人と動物との軋轢	23回	飼育動物と人との関係		
9回	人と動物との軋轢	24回	飼育動物と人との関係		
10回	人と動物とのコミュニケーション	25回	動物園飼育動物と人との関係		
11回	人と動物とのコミュニケーション	26回	動物園飼育動物と人との関係		
12回	人と動物の共生	27回	各動物とのコミュニケーション		
13回	人と動物の共生	28回	各動物とのコミュニケーション		
14回	まとめ	29回	まとめ		
15回	期末試験・振り返り・総評	30回	期末試験・振り返り・総評		
備考					

授業科目	人と動物のコミュニケーション学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（後期）	必修	講義・演習	2単位
担当教員	谷田 創				
実務経験歴	大学教授として33年従事				
授業目的	動物コミュニケーションⅠと動物コミュニケーションⅡで学んだ知識をもとに、人と動物との関係とコミュニケーションの研究手法、データ分析の方法、まとめ方、発表方法について学ぶ。				
達成目標	人と動物との関係（コミュニケーション）の研究手法について理解し、実際に研究を立案して遂行する力、行動データの分析して、その結果をまとめて発表できる力を身につける。				
授業時間外に必要な学修	自分の身近な動物の行動を観察して、人との関係性について考えてみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	授業主旨説明		16回	前期振り返り・まとめ	
2回	人と動物との関係の研究の立案		17回	人と動物との関係の研究に必要な統計学	
3回	人と動物との関係の研究の立案		18回	人と動物との関係の研究に必要な統計学	
4回	人と動物との関係の研究方法の設定		19回	ノンパラメトリック統計学を利用したデータ分析	
5回	人と動物との関係の研究方法の設定		20回	ノンパラメトリック統計学を利用したデータ分析	
6回	フィールド調査のための準備		21回	分析結果の解釈	
7回	フィールド調査のための準備		22回	分析結果の解釈	
8回	フィールド調査の実際		23回	結果の考察	
9回	フィールド調査の実際		24回	結果の考察	
10回	フィールドデータの収集方法		25回	研究論文の書き方	
11回	フィールドデータの収集方法		26回	PP作成方法	
12回	収集データの保存		27回	発表方法・準備	
13回	収集データの保存		28回	発表方法・準備	
14回	まとめ		29回	発表・まとめ	
15回	期末試験・振り返り・総評		30回	期末試験・振り返り・総評	
備考					



授業科目	動物飼育技術学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（前期）	必修	講義・演習	1単位
担当教員	大津 晴男				
実務経験歴	トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事				
授業目的	動物その飼育施設、飼育環境などを安全面や動物福祉に注目して学ぶ。また、繁殖や飼料、健康管理について考える。				
達成目標	動物の飼育を、健康管理、また、その動物の習性に合った環境について考えて飼育することを学ぶ。				
授業時間外に必要な学修	自己のコミュニケーションやマナー、言葉づかい等を検討、評価してみる。				
テキスト	愛玩動物看護師の教科書1～5巻 緑書房				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	飼育施設 脱出等の事故防止や安全な設備				
2回	飼育施設 衛生的な管理				
3回	飼育施設 動物が本来の行動を表現する設備				
4回	飼育施設 動物の治療などの手当てを容易にする構造				
5回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
6回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
7回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
8回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
9回	飼育動物毎の飼育・繁殖の実際				
10回	飼育環境の整備－環境エンリッチメント				
11回	飼育環境の整備－環境エンリッチメント				
12回	動物展示法の歴史				
13回	展示法－ランドスケープイマージョン				
14回	まとめ				
15回	期末試験・振り返り・総評				
備考					

授業科目	国家試験対策				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	3年次（後期）	必修	講義	1単位
担当教員					
実務経験歴					
授業目的	愛玩動物看護師国家試験合格に向けた対策				
達成目標	愛玩動物看護師国家試験合格に向けた対策				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（90%）、学習態度（10%）				
授業内容とスケジュール					
1回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	16回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
2回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	17回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
3回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	18回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
4回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	19回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
5回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	20回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
6回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	21回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
7回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	22回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
8回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	23回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
9回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	24回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
10回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	25回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
11回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	26回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
12回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	27回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
13回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	28回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
14回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	29回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
15回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習	30回	過去問題及び予想問題、各科目毎の重点項目の復習		
備考					

授業科目	総合研究 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(前期)	必修	講義	1
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1回	オリエンテーション		16回	個別・グループ研究	
2回	研究テーマ選定		17回	個別・グループ研究	
3回	研究テーマ決定・研究方法の検		18回	個別・グループ研究	
4回	個別・グループ研究		19回	個別・グループ研究	
5回	個別・グループ研究		20回	個別・グループ研究	
6回	個別・グループ研究		21回	個別・グループ研究	
7回	個別・グループ研究		22回	個別・グループ研究	
8回	個別・グループ研究		23回	個別・グループ研究	
9回	個別・グループ研究		24回	個別・グループ研究	
10回	個別・グループ研究		25回	個別・グループ研究	
11回	個別・グループ研究		26回	個別・グループ研究	
12回	個別・グループ研究		27回	個別・グループ研究	
13回	個別・グループ研究		28回	個別・グループ研究	
14回	個別・グループ研究		29回	研究発表	
15回	個別・グループ研究		30回	研究発表	
備考					

授業科目	総合研究Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義	4
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
1回	オリエンテーション		16回	個別・グループ研究	
2回	研究テーマ選定		17回	個別・グループ研究	
3回	研究テーマ決定・研究方法の検		18回	個別・グループ研究	
4回	個別・グループ研究		19回	個別・グループ研究	
5回	個別・グループ研究		20回	個別・グループ研究	
6回	個別・グループ研究		21回	個別・グループ研究	
7回	個別・グループ研究		22回	個別・グループ研究	
8回	個別・グループ研究		23回	個別・グループ研究	
9回	個別・グループ研究		24回	個別・グループ研究	
10回	個別・グループ研究		25回	個別・グループ研究	
11回	個別・グループ研究		26回	個別・グループ研究	
12回	個別・グループ研究		27回	個別・グループ研究	
13回	個別・グループ研究		28回	個別・グループ研究	
14回	個別・グループ研究		29回	個別・グループ研究	
15回	個別・グループ研究		30回	個別・グループ研究	
備考					

授業科目	総合研究Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義	4
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
31回	オリエンテーション		46回	個別・グループ研究	
32回	研究テーマ選定		47回	個別・グループ研究	
33回	研究テーマ決定・研究方法の検		48回	個別・グループ研究	
34回	個別・グループ研究		49回	個別・グループ研究	
35回	個別・グループ研究		50回	個別・グループ研究	
36回	個別・グループ研究		51回	個別・グループ研究	
37回	個別・グループ研究		52回	個別・グループ研究	
38回	個別・グループ研究		53回	個別・グループ研究	
39回	個別・グループ研究		54回	個別・グループ研究	
40回	個別・グループ研究		55回	個別・グループ研究	
41回	個別・グループ研究		56回	個別・グループ研究	
42回	個別・グループ研究		57回	個別・グループ研究	
43回	個別・グループ研究		58回	個別・グループ研究	
44回	個別・グループ研究		59回	個別・グループ研究	
45回	個別・グループ研究		60回	個別・グループ研究	
備考					

授業科目	総合研究Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義	4
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
61回	オリエンテーション	76回	個別・グループ研究		
62回	研究テーマ選定	77回	個別・グループ研究		
63回	研究テーマ決定・研究方法の検	78回	個別・グループ研究		
64回	個別・グループ研究	79回	個別・グループ研究		
65回	個別・グループ研究	80回	個別・グループ研究		
66回	個別・グループ研究	81回	個別・グループ研究		
67回	個別・グループ研究	82回	個別・グループ研究		
68回	個別・グループ研究	83回	個別・グループ研究		
69回	個別・グループ研究	84回	個別・グループ研究		
70回	個別・グループ研究	85回	個別・グループ研究		
71回	個別・グループ研究	86回	個別・グループ研究		
72回	個別・グループ研究	87回	個別・グループ研究		
73回	個別・グループ研究	88回	個別・グループ研究		
74回	個別・グループ研究	89回	個別・グループ研究		
75回	個別・グループ研究	90回	個別・グループ研究		
備考					

授業科目	総合研究Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物看護学科	2年次(通年)	必修	講義	4
担当教員	田中 里香				
実務経験歴	獣医師免許修得、小動物臨床従事				
授業目的	これまで学習してきた動物看護だけでなく、愛玩動物、実験動物、展示動物など様々な飼育形態に対応した飼育技術をみにつける。また、これまでの学習を生かし研究発表をおこなう				
達成目標	目的に応じた認識、技術を深める。また、これら知識、技術をいかし、研究発表をおこなう				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書					
成績評価(割合)					
授業内容とスケジュール					
91回	オリエンテーション		106回	個別・グループ研究	
92回	研究テーマ選定		107回	個別・グループ研究	
93回	研究テーマ決定・研究方法の検		108回	個別・グループ研究	
94回	個別・グループ研究		109回	個別・グループ研究	
95回	個別・グループ研究		110回	個別・グループ研究	
96回	個別・グループ研究		111回	個別・グループ研究	
97回	個別・グループ研究		112回	個別・グループ研究	
98回	個別・グループ研究		113回	個別・グループ研究	
99回	個別・グループ研究		114回	個人・グループ別研究発表準備	
100回	個別・グループ研究		115回	個人・グループ別研究発表準備	
101回	個別・グループ研究		116回	個人・グループ別研究発表準備	
102回	個別・グループ研究		117回	個人・グループ別研究発表準備	
103回	個別・グループ研究		118回	個人・グループ別研究発表	
104回	個別・グループ研究		119回	個人・グループ別研究発表	
105回	個別・グループ研究		120回	個人・グループ別研究発表	
備考					

























































































































